

事業完了報告書（大田区教育委員会）

調査研究期間等

調査研究期間	令和5年6月7日 ～ 令和6年3月15日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》</p> <p>IV その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p> <p>夜間中学における教育活動充実に係る調査研究</p>
調査研究のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外国籍生徒の学習活動に有効なICT等の教材・教具を活用した効果的な教育指導について研究する。 2. SC等の外部人材等を活用した、より効果的な教育相談及び教育活動について研究する。 3. 日本語学級のない本校において、効果的な日本語指導を行い、各教科における学力の向上と授業力の向上について研究する。
調査研究の成果	<p>上記のねらいを達成するため、本年度は教員研修と教育相談を柱に次のような取組を行い、実践に結びつけた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本年度の取組について <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習活動に関する研修 <p>10月。日本電子専門学校電子応用工学科学科長 仲田英起氏を招聘し、授業に活用できるJamboard、Googleスライド、Google Formsに関して活用事例と準備方法の研修を行った。</p> (2) 教育相談 <p>各学期の中で1回ずつ、大田区のスクールカウンセラーである東 達彦氏による1対1の面接を生徒全員行った。面接結果のフィードバックをもとに個々の生徒が抱えている悩みや、これまでの人生におけるトラウマ等の状態を理解し、生徒一人一人に寄り添いながら「学び直し」を支援する方策について意見交換した。</p> (3) 生徒全員面接後の教育相談研修 <p>2月。夜間学級は慣れない異国の地でストレスフルな生活を余儀なくされている生徒が多いという課題があるため、大田区のスクールカウンセラーである東 達彦氏から、自死企図と自傷行為の理解と対応に関して夜間学級教職員がレクチャーを受けた。大事なことは被援助希求性を高める</p>

ことで、信頼できる大人につなげ、自分の正直な気持ちが話せるようにするのが目標であることや、具体的な接し方や言葉を学習した。最後に、一人で抱えないでチームを組み、多くの大人や地域で生徒を支えることが大切であることを学んだ。

(4) 日本語指導に関する研修

9月。日本語初級教科書「大地」の作者 山崎 佳子 氏、町田 恵子 氏2名を迎えて、①外国語学習・指導の考え方・意識、②「大地」作成目標と編集方針、③日本語教育を体験しよう、④多様なタイプの練習問題の進め方、⑤練習問題の内容の深め方、⑥質疑の項目でレクチャーいただいた。③日本語教育を体験しようでは、実際に生徒役になり、生徒の立場を体験し進め方の配慮事項が大変よく分かった。また、内容の深め方に関しても、いろいろな視点をいただいた。

2. 改善充実の成果について

- ・ I C T機器を活用し、視覚的な援助コンテンツを作成し効果的な日本語指導や教科指導を行うことができた。
- ・ 一人一人に「学習カルテ」を作成し多面的に生徒を把握し、教科ごとの成果と課題をフィードバックしながら長所の伸長と弱点の克服に向けた学習支援の充実を図ることができた。
- ・ S Cとの関わりと研修を通して、生徒理解を深めながら教員としての「観察力」と「指導力」を養い、生徒にとってより良い環境を整えることができた。